

土木学会
選定映画報告

(18)

視聴覚教育委員会

波と闘う人々

(カラー・16mm・スタンダード・30分)

企画：建設省中国地建倉吉工事事務所

製作：社団法人 中国建設弘済会

内 容

わが国は四面が海にかこまれており、その海岸線の一部では年々侵食を受けているところがある。ここ皆生海岸も、わが国有数の侵食海岸で多くの人々を苦しめてきた海岸である。時代の推移によって海岸線が侵食され、遂に人家の密集地まで危険にさらされる状態となり、その対策が必要となった。

対策工法(突堤、離岸堤など)の実施とその成果、次第に砂浜がよみがえり、温泉街も安住できると、地元の人々は喜んでい。離岸堤の計画と工事の記録を主題とし、日本海の荒波による海岸侵食と闘う人々の姿を浮彫りにしている。

海岸は二大別して、土砂に覆われている浜と、岩石、岩盤の露出している磯とに分けられる。そのうちの浜は土砂の移動によって海岸線が著しく変化するところが少なくない。土砂の堆積によって陸地が拡張するところもあるが、流失によって海岸線の後退する地方は、その土地に住む人々にとっては、居住および生計上の重大かつきわめて深刻な問題である。この映画はそのような海岸について、ドキュメンタリー的にその状況と対策とを要領よくまとめて一般土木技術者に紹介することを意図しているが、また、地味に国土保全のための努力をしている地方建設局の苦勞についての、市民へのPR用としても、わかりやすく興味深い優秀な映画である。主なる題材は鳥取県皆生海岸の離岸堤である。これは海中に海岸より百数十メートル隔てて平行に構築され、これと突堤とにより、土砂の流失を阻止するのみでなく、土砂の堆積をももたらし、砂浜を甦えらせ、さらに副産物として離岸堤沖合における魚獲高を激増させることにもなった。この工事前の海岸の状態、工事の計画および施行が記録されている。この効果的な離岸堤を長年月に亘って保全するための有効な対策が望まれる。

上記映画を利用されたい方は下記へお問い合わせ下さい。

建設省中国地建倉吉工事事務所

〒682 倉吉市宮川町2の45 08582(2)6221

または土木学会図書館へ

「土木学会選定映画」応募作品募集について

土木学会では、土木工学に関する広い知識を効率よく教育または一般にPRするため、関係官公庁、地方公共団体、業界等で数多く作られている土木工学に関連する映画が有効かつ適切に利用されるよう「土木学会選定映画」制度を設けておりますので、ふるって御応募下さいますようお願い申し上げます。

応募方法は特にむずかしい規程はございません。広い意味での土木工学に関する映画を企画または製作されたものであれば、どなたでも応募できます。

なお「土木学会選定映画」の審査を受け「選定映画」になった作品以外は「土木学会映画コンクール」に応募できません。お早めに審査をお受け下さいますようご案内申し上げます。

応募ご希望の方は下記にて申込書を請求下さい。折返し申込用紙をお送り致します。

記

申込書請求先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目 TEL 03(351)5130

社団法人 土木学会 視聴覚教育委員会 あて